



2015年11月9日

各 位

会社名 塩野義製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 手代木 功
(コード番号 4507 東証第一部)
問合せ先 広報部長 高木 浩樹
TEL (06) 6202-2161

新規セファロスポリン系抗生物質 S-649266 およびバックアップ化合物に関する 英国 GSK 社との共同研究・開発および販売契約の改定について

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：手代木 功、以下「塩野義製薬」または当社）は、このたび、GlaxoSmithKline plc.（本社：英国ミドルセックス州ブレントフォード、CEO：Sir Andrew Witty、以下「GSK社」）との間で2010年に締結した新規セファロスポリン系抗生物質の共同研究・開発および販売に関する契約を改定しましたのでお知らせいたします。

このたびの契約改定により、塩野義製薬とGSK社は、多剤耐性菌を含むグラム陰性菌に対する新規注射用セファロスポリン系抗生物質S-649266と、そのバックアップ化合物として見出されたGSK3342830を、各社がそれぞれ単独で開発および販売してまいります。また、契約の改定に伴い、塩野義製薬はGSK社より一時金およびGSK3342830の今後の開発・販売に応じたマイルストーンを受け取ります。また、両社はそれぞれの化合物の売上高に対して、一定料率のロイヤリティーを相手方に支払います。

近年、新規抗菌薬の創薬研究が衰退する中、既存の抗菌薬に対する細菌の耐性化、特に多剤耐性菌を含むグラム陰性菌の増加は、世界規模で重大な社会問題となっています。このような背景から、両社は新規作用機序を有する抗菌薬の開発を目指し、2010年にセファロスポリン系抗生物質の共同研究・開発に着手し、S-649266とGSK3342830というプロファイルの異なる2化合物の創製に成功いたしました。このたび両社は、2化合物が共に臨床で必要であるとの考えに至ったことから、共同開発を終了し、各社の経営資源をそれぞれの化合物に集中させることで単独で開発を進捗させ、患者さまにいち早く両化合物をお届けすることを目指してまいります。塩野義製薬が開発を継続するS-649266につきましては、現在、第Ⅱ相臨床試験の段階にあり、2015年度中に第Ⅲ相臨床試験を開始する予定です。

塩野義製薬は、感染症治療薬の国内トップメーカーとして、細菌感染症やウイルス感染症を中心とするグローバルにおける感染症治療に貢献し続けるため、今後も質の高い自社開発品の創製と迅速なグローバル開発の推進に注力してまいります。

以上

【お問合せ先】 塩野義製薬株式会社 広報部

大阪 TEL：06-6209-7885 FAX：06-6229-9596

東京 TEL：03-3406-8164 FAX：03-3406-8099